

YAKUZEMI TOTAL LEARNING 2020

継続教育
コンテンツ

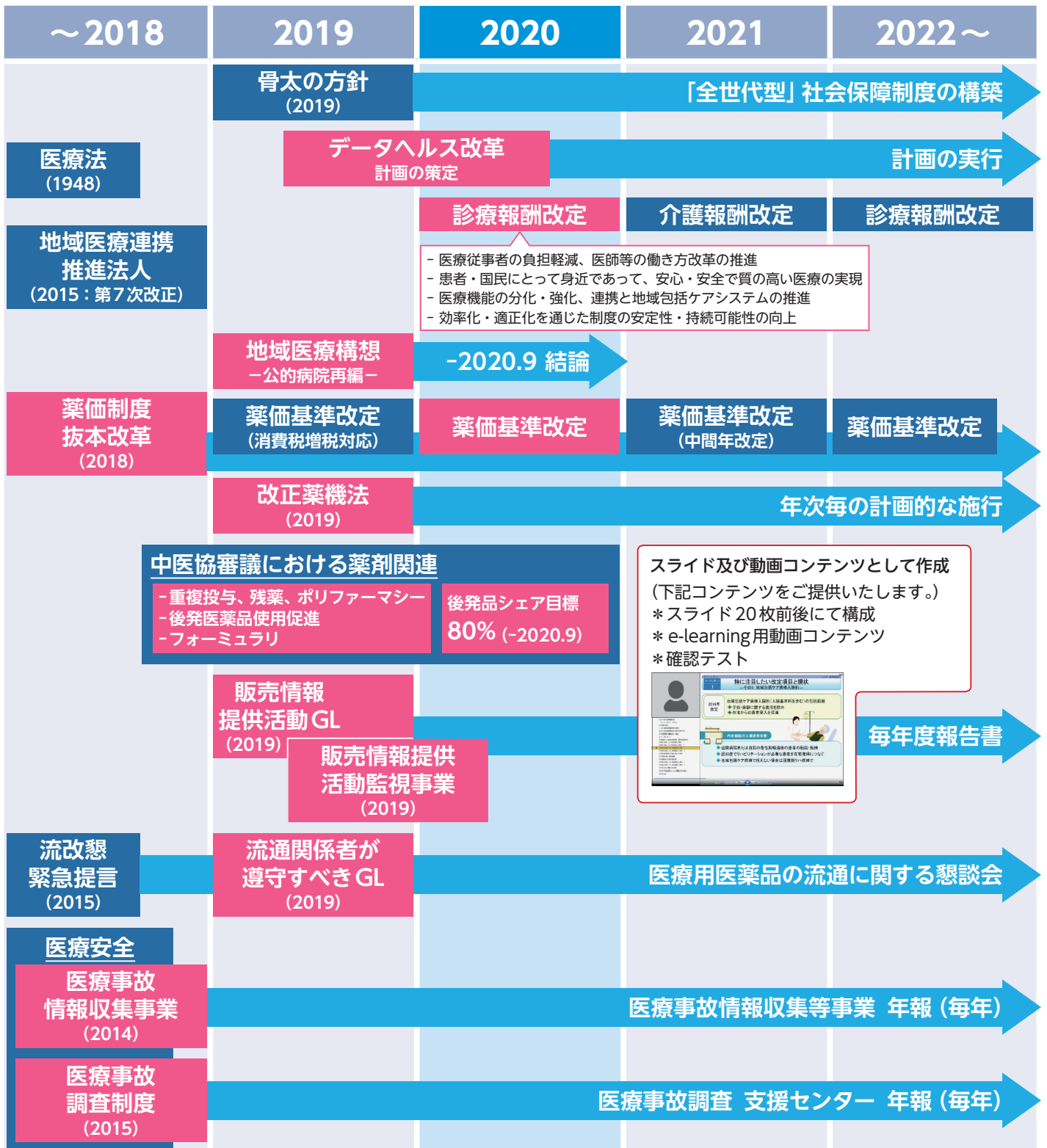


2020年度
—より現場のニーズに沿った内容へ—

従来からご好評頂いております
『学んだ知識をMRの立場でいかに役立てるか』
というコンセプトを基として制作しています
環境変化の激しい医療・医薬品業界にて
役立つ知識が学べます

『なぜこの知識を学ぶのか？』

医療・医薬品業界を取り巻く環境変化を踏まえ 学んだ知識をMRが活動に役立てられるよう作成



※1 法規・制度・PMS関連イベントに関し、YTLにて抜粋して作成
 ※2 図内赤枠に関連したテーマを2020年度は取り上げ

活用例

(想定学習時間：1～2時間)

映像の視聴 (20分)

確認テストと 解答・解説確認 (30分)

グループワークや ディスカッション (30分～)

事後の資料 読み込み (30分～)

法規・制度・PMS



MRとしてこんな
ことが学べる

— 2020年1月～9月発売コンテンツ —

| | |
|-----|---------|
| 発売月 | テーマ名 |
| | 内容紹介 |
| | keyword |

| | | |
|----------|--------------------------|--|
| 法規 制度 | 2020年 2月号 [1/15発売] | <p>医薬品医療機器法の改正 ～MR活動への影響～</p> <p>改正のポイントである、○革新的な医薬品・医療機器等への迅速なアクセス確保、安全対策の充実、○医薬品・医療機器等の適切な製造・流通・販売を確保する仕組みの充実、○薬局・薬剤師のあり方、医薬品の安全な入手等について取り上げ、MR活動に及ぼす影響について理解を深める機会とする。</p> <p>『医薬品医療機器法（薬機法）』</p> |
| 制度 | 2020年 3月号 [2/17発売] | <p>令和2年度 診療報酬改定速報 ～改定の背景を知る～</p> <p>令和2年度診療報酬改定では、平成30年度診療報酬改定の重点課題であった『医療機能の分化・強化・連携への取組みの継続的な推進』のほか、『医師等の働き方改革の推進』、『身近であって安心・安全な医療の実現』、『制度の安定性・持続可能性の向上』が重要な視点となっている。今回は、診療報酬改定のそもそもである社会保障全体の流れを知り、当改定の意義と目的を理解し、製薬企業やMR活動のあるべき方向性を考える一助とする。</p> <p>『診療報酬改定（基本的視点と具体的方向性、重点課題）』『全世代型社会保障』</p> |
| 制度 | 2020年 4月号 [3/16発売] | <p>令和2年度 診療報酬改定① ～医師等の働き方改革の推進～</p> <p>令和2年度診療報酬改定では、『医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進』が重点課題とされている。2024年度から医師の時間外労働時間の上限規制が適用されることになる中、医療提供体制の改革が望まれている。これらの環境変化が現場に与える影響・効果について、MR活動と連動して考える機会とする。</p> <p>『診療報酬改定（重点課題：医師等の働き方改革）』『タスクシフティング』『地域医療構想』</p> |
| 制度 | 2020年 5月号 [4/15発売] | <p>令和2年度 診療報酬改定② ～質の高い医療の実現に向けて～</p> <p>令和2年度診療報酬改定のうち、『患者・国民にとって身近であるとともに、安心・安全で質の高い医療を実現』にフォーカスを当てて学ぶ。かかりつけ機能の評価、アウトカム評価の推進、重症化予防への取り組み、薬局の対人業務評価など、重点的に対応が必要な分野などの項目の理解を促進する。当教材を通じ、掲げた内容がMR活動に求める変化を読み解く。</p> <p>『診療報酬改定（質の高い医療の実現）』『かかりつけ機能』『アウトカム評価』『薬局の対人業務』『ICT活用』</p> |
| 制度 | 2020年 6月号 [5/15発売] | <p>令和2年度 診療報酬改定③ ～医療機能の分化・強化と地域包括ケアの推進～</p> <p>令和2年度診療報酬改定のうち、『医療機能分化・強化、地域包括ケアシステムの推進』にフォーカスを当てて学ぶ。急性期から慢性期・在宅医療など、状態に適合した切れ目のない医療提供の体制確保は、継続して重要視されている。当教材では過去からの流れを再確認し、MRの活動のベクトルを再考する機会とする。</p> <p>『診療報酬改定（医療機能分化・強化、地域包括ケアシステムの推進）』</p> |
| 制度 | 2020年 7月号 [6/15発売] | <p>令和2年度 診療報酬改定④ ～医科報酬と調剤報酬の共通項目～</p> <p>令和2年度診療報酬改定のうち、『効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上』にフォーカスを当てて学ぶ。後発医薬品の使用促進や費用対効果・市場実態からの薬剤師への評価、さらに重症化予防や医師と薬剤師の連携評価など、医師・薬剤師協働の取組みが評価されだしている。当教材では医科と調剤の連携、協働の視点から項目を整理し、これらの項目とMR活動の関わりについて学ぶ機会とする。</p> <p>『診療報酬改定（効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上）』『重症化予防』『費用対効果』『後発医薬品』</p> |
| 制度 | 2020年 8月号 [7/15発売] | <p>フォーミュラリ ～誰のため、何のため～</p> <p>フォーミュラリと聞くと、表向き、経済性、後発医薬品使用による薬剤費削減の問題ととらえられがちである。しかしながら、フォーミュラリ作成にあたっては、経済性に加えて、有効性、安全性、製剤原料の原産国や安定供給の問題、また、医療者・患者等地域のステークホルダーの求める情報が重要となる。今一度フォーミュラリは、誰のために・何のために行われるかを再考し、MRとして提供すべき情報を考える機会とする。</p> <p>『フォーミュラリ』</p> |
| 制度 | 2020年 9月号 [8/14発売] | <p>薬の供給と市場の危機 ～薬価制度のあり方～</p> <p>毎年薬価改定や後発医薬品の見直しもあり、抗菌薬を始め、原価割れの薬価を設定されている薬剤も散見され出した。このような事象により、供給にまで問題が発展していつている。なぜこのような現象が起きているのかを薬価制度のそもそもの見直しながら、再考する機会とする。また、医療従事者が当事象によりどのような不安を覚えているか、そしてMRとして取り組めることがあるかを考える。</p> <p>『薬価制度』『供給問題』</p> |

仕様 ① オリジナルPowerPoint（約20枚）/シナリオつき
 ② 動画コンテンツ（MP4形式、約20分）/解説、司会進行入り
 ③ 確認テスト（Word、10問）/解答解説つき

▶ DVD-Rにて、①～③をパッケージにしてお届け
 【価格】本体 20万円（税別）

法規・制度・PMS



MRとしてこんな
ことが学べる

— 2020年10月～2021年3月発売コンテンツ —

| | |
|-----|---------|
| 発売月 | テーマ名 |
| | 内容紹介 |
| | keyword |

| | | |
|----------|---------------------------|--|
| 制度 | 2020年 10月号 [9/15発売] | <p>医薬品流通の改善 ～今、流通の現場で何がおこっているのか～</p> <p>2015年、流改懇では、3つの指摘事項、「一次売差マイナスの解消」、「納入価格の早期妥結」、「単品単価の推進」が緊急提言された。その後、その改善を加速させるために、2018年4月より流通改善ガイドラインが施行された。現在流通の現場で何が起きているのか、どのような課題があるのか、医療用医薬品の流通に関わるMRとして、MSと同じ土俵に立つために必要な知識を修得する機会とする。</p> <p>『医療用医薬品の流通改善に関する懇談会』『医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン』</p> |
| | PMS | 2020年 11月号 [10/15発売] |
| 制度 倫理 | | 2020年 12月号 [11/16発売] |
| | 制度 | 2021年 1月号 [12/15発売] |
| 制度 | | 2021年 2月号 [1/15発売] |
| | 制度 | 2021年 3月号 [2/15発売] |

仕様 ① オリジナルPowerPoint（約20枚）/シナリオつき
② 動画コンテンツ（MP4形式、約20分）/解説、司会進行入り
③ 確認テスト（Word、10問）/解答解説つき

DVD-Rにて、①～③をパッケージにしてお届け
【価格】本体20万円（税別）

MRの倫理

— 2020年度作成コンテンツ —



MRとしてこんなことが学べる

| | |
|-----|---------|
| | テーマ名 |
| 発売月 | 内容紹介 |
| | keyword |

| | | |
|----|---------------------------|--|
| 倫理 | 2020年 4月号 [3/16発売] | <p>患者会はなにをすところ？</p> <p>患者会という名前に関しては、日常のMR活動においても見かけることはあるが、具体的にどのような活動を行っているか等は知らない事が多いのではないだろうか？ 当学習では、がん領域での患者会の実際にフォーカスをあて、患者がなぜ患者会に参加しているのか、何を行っているのかを知り、MRとして患者に貢献しうる活動について再考する機会とする。</p> <p>『患者会』『ペイシェントアドボカシー』『患者中心の医療』</p> |
| | 2020年 10月号 [9/15発売] | <p>減薬すると言われたら… MRの正しい行動は？</p> <p>医療費の適正化が叫ばれる中、ポリファーマシーなどへの医師や薬剤師等の問題意識も大きくなっている。MRは患者さま視点での医療への貢献を考えないといけない反面、薬剤の適正使用・普及を任されている立場にある。医師・薬剤師等に自社製品や併用薬を減薬すると言われたら、MRとしてどのような受け答えをするべきだろうか。MRとしての対応を考える。</p> <p>『多剤併用』『ポリファーマシー』</p> |

*タイトル、テーマは変更する場合がございます。

| | | |
|----|------------------------------------|--|
| 仕様 | ① オリジナルPowerPoint (約20枚) / シナリオつき | ▶ DVD-Rにて、①～③をパッケージにしてお届け 【価格】 本体 20万円 (税別) |
| | ② 動画コンテンツ (MP4形式、約20分) / 解説、司会進行入り | |
| | ③ 確認テスト (Word、10問) / 解答解説つき | |

【ご注意】

- ・掲載の製品は、ご購入企業と学校法人医学アカデミーとの間のユーザー使用許諾契約に基づいてご使用頂けます。使用許諾契約は、購入申込書及び購入企業さまのシステムによる発注契約に基づき契約がなされた場合、および、売買契約書の締結をもって契約内容に同意頂ける場合に締結される契約と致します。
- ・掲載の製品は登録ユーザー (購入企業内) の研修の目的に限り使用できません。掲載の製品に収録されたすべてのコンテンツは複写・改変、社内イントラへの搭載、社内複数ユーザーでの共有も許可しております。ただし、改変を行った場合の品質につきましては、弊校では一切責任を負わないものと致します。また、下記禁止事項は遵守いただきますよう、よろしく願い致します。

【禁止事項】

- ・第三者間 (子会社を含む別法人) 間で貸与または譲渡すること。
- ・コンテンツやプログラムを製品から分離または複製し、二次利用すること。

バックナンバー

MRとしてこんな
ことが学べる



テーマ名
内容紹介
keyword

— 過去制作コンテンツより抜粋、他にも多種用意ございます —

制度

フォーミュラの現状と今後 (2019年3月制作)

監修：元聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部長・日本医薬総合研究所 取締役 増原 慶壮 先生

医療機関・地域毎に患者さまへ最も有用で経済的な医薬品の使用方針・医薬品リストを医師・薬剤師が策定するFormulary。その薬剤選択の結果が医薬品の採用・普及へ大きな影響を及ぼすと推測される。具体的な事例を提示しつつ、MRとして担当エリアにおける取組を考える機会を作る。

『地域医療連携推進法人』『地域包括ケア』『フォーミュラ』『協会けんぽ静岡』

制度

話せますか？ 薬価制度抜本改革 (2019年4月制作)

薬価改定は、実質的には2019年から毎年改定される。「国民皆保険の持続性」と「イノベーションの推進」を両立し、「国民負担の軽減」と「医療の質の向上」を実現するために、国が進めている薬価制度の抜本改革について、まずその背景を取り上げ、次に各論として、新薬、長期収載医薬品、後発医薬品の薬価が今後どのように改定されていくのかについて理解し、MRとして薬価制度の抜本改革の狙いと自社医薬品の今後の薬価の動向について説明できるようにする。

『薬価制度抜本改革』『薬価改定』

制度
PMS

話せますか？ 医薬品副作用被害救済制度 (2019年5月制作)

スモン事件を契機として、企業の社会的責任に基づいて被害者を救済する医薬品副作用被害救済制度が創設され、40年が経過する。研修では、最新の認知度調査の結果を紹介し、救済制度の仕組み、救済給付の内容、被害救済の実績を確認し、自社医薬品に限らず医薬品による副作用被害に対する救済制度について、MRとして適切な情報提供をできるようになる。

『医薬品副作用被害救済制度』『PMDA』

制度
PMS

リアルワールドデータの利活用 ～医療×情報の今を知る～ (2019年11月制作)

実臨床において、「クリニカル・イノベーション・ネットワーク(CIN)」と「医薬品等の評価と安全対策を高度化するための医療情報データベース(MID-NET)」を連携させ、開発から安全対策までの一連の過程で、より大規模なリアルワールドデータの活用が推進され出している。今回は製薬企業が大規模なリアルワールドデータをどのように活用するか、その方向性を学ぶ機会とする。

『改正GPSP省令』『リアルワールドデータ』『CIN』『MID-NET』

PMS

医薬品安全性情報の入手先 ～医療従事者・MRの現状～ (2019年12月制作)

医薬品安全性情報は、厚生労働省、PMDA、製薬企業等から医療機関に提供され、提供された最新の情報が、臨床現場へ適切に伝達され、活用されることが求められる。今回は、最新の調査結果を紹介する中で、PMDAメディナビ、DSU、MR等の役割について確認するとともに、MRとして、医薬品等の安全使用の推進に役立てていただく上での、安全性情報の最適な提供方法等を考えるきっかけとする。

『安全性情報の入手・伝達・活用状況』

倫理

人生の最終段階における医療の決定プロセスガイドライン ～患者の思いを尊重する～

2019年に11年ぶりに改訂された人生の最終段階における医療の決定プロセスガイドライン、その中では、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の重要性を強調する方向性が示されている。近年、普及しつつあるACPについての理解を深めるとともに、MRとして、自身の、またご家族の人生の最終段階における医療の決定を考える機会とする。

『人生の最終段階における医療の決定プロセスガイドライン』『アドバンス・ケア・プランニング(ACP)』

倫理

治療を続けますか？ それとも緩和医療にしますか？ 臨床倫理の4分割法に学ぶ

日常臨床において、医療従事者は、治療法に苦心する患者さんに遭遇することがあり、もやもや感が残る。このような時に、医療従事者が集まり一緒にもやもやを解決していくためのツールの一つが、ジョンセンらの提唱する臨床倫理の4分割法である。今回の研修では具体的事例を用いながら、この臨床倫理の4分割法について学び、MRとして、チーム医療にどのように貢献できるか考える機会とする。

『臨床倫理の4分割法』

仕様

- ① オリジナルPowerPoint (約20枚) / シナリオつき
- ② 動画コンテンツ (MP4形式、約20分) / 解説、司会進行入り
- ③ 確認テスト (Word、10問) / 解答解説つき

DVD-Rにて、①～③をパッケージにしてお届け
【価格】本体 20万円 (税別)

継続教育資材に関するお申し込み・ご意見は
下記メールアドレスもしくは弊社担当者にご連絡下さい

ytinfo@ytl.jp

下記のようなご意見、お待ちしております。

- ・気になったテーマ
(サンプルをご入用の際は、お持ち致します。)
- ・不足している点やご要望にお答え出来ていない点
- ・継続教育資材としてお探しのテーマ
(別途、貴社のご要望に応じて作成も可能です。)



学校法人 医学アカデミー
薬ゼミ トータルラーニング事業部

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3-18-3 錦三ビル5階

TEL : 03-3518-8241

FAX : 03-3518-8242

MAIL : ytinfo@ytl.jp

URL : <http://www.ytl.jp>